

日本アカデミック・ディテリング研究会 第2回学術大会プログラム

テーマ「薬剤師による処方支援 Clinical Decision-Making の推進」

2023年 9月 3日（日）

第1会場（記念講堂）

9:20～9:30

開会式

9:30～9:50

大会長講演

「**薬剤師の Clinical Decision-Making とは？**」

【座長】

稲葉 健二郎（総合相模更生病院）

【講師】

宮崎 美子（戸田中央総合病院）

9:50～10:20

代表理事講演

「アカデミック・ディテリングで薬剤師は、変わる！」

【座長】

宮崎 美子（戸田中央総合病院）

【講師】

小茂田 昌代（千葉西総合病院）

10:20～11:20

特別招聘講演

「臨床決断をする際の視点

～薬物治療におけるリスクとベネフィットのバランスについて～」

【座長】

宮崎 美子（戸田中央総合病院）

【講師】

小崎 彩（University of California, Irvine School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences）

11:20～12:20

社員総会

11:20～12:50

昼食（昼食会場りんどろ）

13:00～13:45

教育講演1

「医療ビッグデータの活用によるゲノム医療への貢献」

【座長】

小茂田 昌代（千葉西総合病院）

【講師】

座間味 義人（岡山大学病院）

14:00～14:45

教育講演2

「薬物動態の基本的な考え方について～薬剤師に理解・活用して欲しい基礎理論～」

【座長】

西川 元也（東京理科大学薬学部）

【講師】

宮嶋 篤志（明治薬科大学）

15:00～16:30

シンポジウム1

「臨床薬剤師が基礎薬学を学ぶと患者の薬物療法はどう変わるのか」

【座長】

稲葉 健二郎（総合相模更生病院）

【シンポジスト】

「基礎薬学的考察は患者の薬物治療をどう変えるのか」

高橋 伸幸（昭和大学病院附属東病院）

「臨床薬剤師ががん悪液質を多角的に理解すると患者の薬物治療はどう変わるのか」

鈴木 秀隆（国立がん研究センター先端医療開発センター・国立がん研究センター東病院）

「薬学部実務実習におけるアカデミック・ディテールリング実習の実践と評価」

大矢 智則（国際医療福祉大学病院）

16:40～18:10

シンポジウム2

「大学における臨床教育を考える～処方支援に必要な薬剤師の専門教育とは～」

【座長】

清水 忠（兵庫医科大学薬学部）

【シンポジスト】

「処方提案スキルの習得を促すデジタル教育」

濱野 裕章（岡山大学病院）

「薬物治療学の基礎知識を活用した症例解析と治療法の提案」

池田 弘子（星薬科大学）

「医学論文×基礎薬学を使いこなす臨床準備教育」

上田 昌宏（摂南大学薬学部）

「医師に陪席したClinical Decision-Makingの経験を薬学教育に活かすために」

杉山 奈津子（国際医療福祉大学薬学部）

18:15～18:20

次期大会長あいさつ
座間味 義人（岡山大学病院）

18:20～18:30

閉会式

第2会場（記念講堂ホワイエ）

10:00～18:00

一般演題ポスター掲示

11:20～12:20

示説

第3会場（第9教室）

12:20～12:50

理事会

懇親会

19:00～21:00

Set Lip Spanish&Italian 玉川学園前（東京都町田市玉川学園7-5-4）